**情報提供書**

１．提供者情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （１）提供者（１名） | | | |
| 所属機関 |  | | |
| 所属部署 |  | 役職 |  |
| 氏名 |  | ふりがな |  |
| 電話 |  | メール |  |
| 住所 |  | | |
| 関係機関 ※本情報提供に際して関係機関、協力機関がある場合にはお書きください | | | |
|  | | | |
| 秘密保持契約 締結の希望 | □なし  □あり  **※別添「秘密保持契約書雛形」に必要情報を記入の上、問合せ先宛にお送りください** | | |
| （２）提供者機関の事業 ※法人の場合のみ | | | |
| （今回ご提供頂く情報に関わらず企業や団体等の一般的な事業概要をご記入下さい。） | | | |

２．提供情報

ご回答は全項目必須ではありませんが、可能な範囲でご記入をお願いいたします。

|  |
| --- |
| （１）部品・機器のインタフェース条件について |
| JAXAでは、部品・機器の実証テーマ機器を搭載するにあたり、実証テーマ及び衛星バスで考慮すべき事項をまとめた「インタフェース条件書」（別紙1）を作成しています。  本インタフェース条件書に対して、特に以下の観点を含め、記載が望ましい項目の過不足、記載されている条件の見直し要否について、ご意見をご記入ください。   * 既存または開発予定の衛星バスで達成可能な実証テーマ機器に提供できるリソース * 電源I/F（インタフェースch数、電圧値、最大電流等） * テレコマI/F（インタフェースch数、ディスクリートコマンド仕様、時刻配信等） * 実証テーマ機器テレメトリのリアルタイムテレメトリへの取込要否 * 実証テーマ機器に要求する機械環境条件（音響、振動、衝撃） * 運用計画 * 実証テーマ機器のコマンド登録方法（コマンドデータベースによる管理、シーケンスとして実証テーマ側から一式提供、パターン登録、等） * 提供可能コマンド数 * データ授受方式（Webシステム、FTP、クラウドサービス等） |
| （２）部品・機器のリソース要求について |
| これまでの実証テーマ公募では、部品・機器の実証テーマ機器のリソース要求として、以下を設定しておりましたが、複数のカテゴリに分けることを検討しております。搭載の容易性を考慮したうえで、カテゴリ分けに関するご意見をご記入ください。 ＜既存のリソース要求＞  ① 最大質量： 4kg  ② 最大周回平均電力： 5W  ③ 最大寸法： 15cm×15cm×15cm  ④ データ・インタフェース： LVDS、RS422、（スペースワイヤも可能）  ⑤ 電源インタフェース： ＋5V、＋12V、＋24～33V非安定  ⑥ 最大データ伝送レート： 2kbps（常時型実証）  ⑦ 最大データ伝送量： 100MB/週（イベント型実証）  ⑧ 軌道上実証期間： 1年間（1ヵ月の初期チェックアウト後）  ＜提案例＞  内部搭載  SSサイズ：100g以下、0.5W以下、5x5x5cm以下 Sサイズ：1.5kg以下、2W以下、10x10x10cm以下  Mサイズ：4kg以下、5W以下、15x15x15cm以下  Lサイズ：10kg以下、10W以下、20x20x20cm以下  外部搭載  開口部のみの要求機器（カメラ等）  展開物・推進系等特殊機器  特別要求の有無  　搭載面の配置要求  　視野要求、等 |
| （３）既存または開発予定の衛星バスについて |
| 既存または開発予定の衛星バスについて、以下の情報をご記入ください。  ① 部品・コンポーネント等の実証テーマ機器を搭載できる余剰スペースや電力がどの程度あるか  ② 既存または開発予定の衛星バスが予定している軌道、主要諸元  ③ 既存または開発予定の衛星バスの開発スケジュール、打ち上げ予定時期（可能時期）  ④　既存または開発予定の衛星バスに搭載できる実証テーマ機器の個数の目安（①のリソースとは別に、インタフェース調整等の御社が対応する業務量としての想定上限数などがあれば）  ⑤④において１つあたりに想定される搭載価格（実証テーマ機器の軌道上データを成果物として納入して頂く場合の想定価格） |
| （４）プラグ＆プレイ方式について |
| 実証テーマ機器が事前に明確化したインタフェース条件を満たすようにすることで、プラグ＆プレイ方式として、途中で実証テーマ機器の載せ替えを可能にするような方式とする場合、対応できる余地や課題についてご意見をご記入ください。 |
| （５）契約形態について |
| 1. 現在、実証テーマ機器の軌道上データを成果物として納入して頂く契約形態（衛星の納入は不要）について検討しています。この対応可否についてご意見をご記入ください。また、想定されるメリットや懸念点（例：軌道上でデータの取得に失敗すると支払いができなくなる可能性がある、または、財務諸表上、不健全になるおそれがある等）などがあれば、ご意見をご記入ください。また、懸念点については、どのような契約条件であれば、受けやすいかご記入ください。（例：PFTデータにより受領検査を実施し、納入可能であればその時点までの工数を支払うような段階的納入形態、等） 2. 複数機（複数の打上げ機会）をまとめて受注するような契約形態が可能となった場合のメリットやデメリット、検討すべき課題等がありましたら、ご記入ください。 3. 既存の衛星バスに部品・コンポーネント等の実証テーマ機器を搭載する場合、考慮して欲しい契約条件等があればご記入下さい。 |
| （６）事業計画について |
| 実証機器を搭載し、軌道上データを提供するようなサービスについて、将来的に事業化・サービス化を目指す計画があれば、ご意見をご記入ください。また、その際に、JAXAに期待することがあればご記入ください。 |

３．その他特記事項

|  |
| --- |
| （上述の事項以外で本プログラムの実施にあたりJAXAが検討すべき事項、明確にすべき事項等あればご記入下さい。） |

以上